

令和7年度人権教育連続講座

イキイキ人間学

人権が尊重され、明るく住みよい社会をつくるためには、一人ひとりが生きがいをもち、地域に住む人々の幸せを願い、人々が力を合わせ理解と協力の輪を広げていくことが大切です。

市民の皆様、人権学習推進委員会の推進委員・事務局員の方々ふるってご参加ください。

<第1回> 7/15(火)14:00~15:30

「今、心に仏あり。」

講師／香川県まんのう町 慈泉寺

僧侶 教誨師 片岡 妙晶 氏

「互いに歩みよる気持ちさえあれば、人はありのままに心に從って生きることができる」この答えは仏教にあるのではと思います。引きこもり、不登校といった教育が抱える問題や大人になってからも逃れることのできない「生きづらさ」に対して、宗教だからこそその向き合い方を浄土真宗の視点から、自身の経験を用いてお話しさせていただきます。

<第3回> 9/19(金)14:00~15:30

「『食べ物』がつなぐ人と人」

講師／NPO法人 フードバンク岡山

理事長 糸山 智栄 氏

2012 年からフードバンク活動を始めてきました。食べられるのに捨てられていた「食べ物」を誰かの役に立てたいと、たくさんの人が協力して活動しています。

人と人が繋がることで、子ども達が育つ地域を豊かにしていきたいでしょう。

<第5回> 11/20(木)14:00~15:30

「真の女性の社会進出を願って」 ～究極の男性社会の中で 30 年～

講師／(株)スプリングジャパン ボーイング 737 型機

機長 豊原 美由起 氏

昨今、女性の社会進出が目覚ましく、多くの女性が社会で活躍しています。女性自衛官9%未満、日本で働くエアラインパイロット2%未満(2024年度)、どちらも女性の割合1割以下の「究極の男性社会」といわれる職業に就いてきました。

その経験をもとに、現場の立場から実際はどうなのか、過去から現在までの変遷をたどり、真に男女が対等な立場で活躍できる社会の実現を願って、お話ししたいと思います。

<第2回> 8/27(水)14:00~15:30

「大人の発達障害」

講師／川崎医療福祉大学医療福祉学部

准教授 諏訪 利明 氏

大人になってから、自分が「発達障害である。」と気付く人たちがいます。それまでの自分の生きづらさが「発達障害」であったことに気付く安心感はあるものの、新しい自分とどう付き合うか、当事者の方には、特別な支援が必要な場合もあるように思います。

大人の発達障害の現状を、新しいこれからの障がい観や支援の在り方とともに、お伝えしたいと思います。

<第4回> 10/23(木)14:00~15:30

「写真で何を表現するか」

講師／写真家(日本写真家ユニオン)

高田 昭雄 氏

15歳で就職し、社会の荒波を必死で生きぬくなかで写真という表現に出会いました。1960年代から70年代の高度経済成長期、時代に翻弄されながらも元気にたくましく生きる子どもたちの姿を写真に収め社会の矛盾を伝えてきました。また、水島地区を半世紀にわたって撮り続け、住民や環境への影響を写真集『水島の記録 1968-2016』として出版しました。写真は社会との関わりを持つための手段と思っています。

受講料
無料

対象：倉敷市に在住・在学・在勤の方

定員：各回 50 人

会場：ライフパーク倉敷 中ホール

<お申込み・お問い合わせ>

ライフパーク倉敷 市民学習センター

Tel 086-454-0011 【担当】江口・小田

※各回とも、当日の申し込みも受け付けています。

※発熱やのどの痛み、咳等がある方や体調がすぐれない方は、参加をご遠慮ください。

※講演開始時刻2時間前の時点で「暴風警報」や「特別警報」が発令されている場合は中止とします。